

紙面から

教育随想

「少年の健全な成長を願って」

愛知県岡崎警察署長

警視正 加藤 博己氏

羅針盤

「先達の心」

矢作西小学校長

上川 清玄

この人に聞く

「なぜと考える習慣」

元国連職員 川島 敏邦氏

特集

一年のあゆみ

平成十二年度の研究発表校

平成十二年度教育論文入賞者

ふれあい

「心の奥に秘められたもの」

愛知県立安城養護学校

野本亜香根

師弟同行

愛知県教育振興会

細川小学校

菅沼 和子

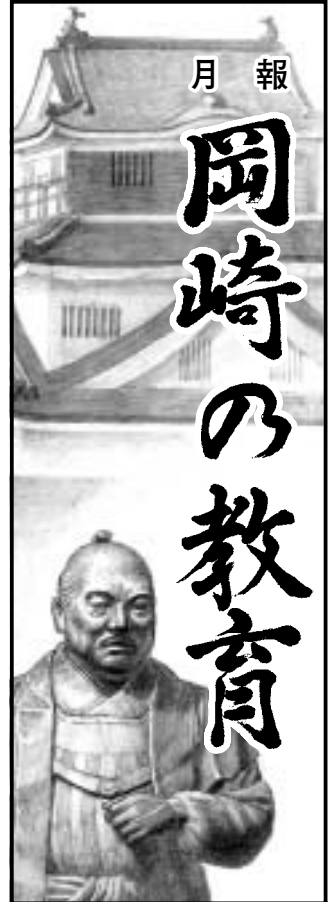
古橋 睦典

陸典

和子

フォト・ヒストリー岡崎の教育

学習発表会(明治四十四年)



月報 岡崎の教育

3月号

平成13年3月1日

発行/編集

岡崎市教育委員会

今月の学校紹介
~常磐中学校~



小中連携教育



— 教育随想 —



少年の健全な成長を願って

愛知県岡崎警察署長

警視正 加藤 博 已



皆様には、平素から警察業務、ことに少年警察活動には多大なお力添えを賜り、心から感謝しております。

さて、最近の少年非行は

○豊川市内における主婦刺殺事件

○広島県における高速バスジャック事件

○歌舞伎町におけるビデオ店爆破事件

など「十七歳」少年による「いきなり型」の凶悪事件の多発を始め、少年グループによる強盗・恐喝・ひったくり事件等が連続して発生し、少年による凶悪犯罪の頻発がクローズアップしております。

昨年（平成十二年）中の管内における犯罪少年等の検挙は三一九人で、罪種別では窃盗犯が多く、次いで粗暴犯の順、学職別では中学生が多く、次いで高校生の順、年齢別では十六歳が多く、次いで十五歳の順

と痛感させられたのであります。

総務庁の一昨年（平成十一年）の調査によりますと、子供が何をして

いるかわからない（三六・八パーセント）、子供の躰についてできるだ

け学校で面倒を見てほしい（三八・二パーセント）と回答するなど、親の躰に対する考え方の一端が明らかになっておりますが、今後更にこうした傾向は強くなっていくものと思

っております。

また、少年を取り巻く環境も、風俗環境が、その刺激性を増々エスカレートさせるとともに、覚せい剤などの薬物が一般の生活領域まで入り込んでくるなど少年を非行に陥れる要素が溢れているのであります。

こうした状況を払拭するためには、関係各位のご理解とご協力を得てその連携を強化するとともに、地域ぐるみによる非行防止機運を高めていかなければなりません。

なかでも、教職員の皆様は教育の場を通じて、少年たちと接触する機会が多い立場にございます。日ごろから少年の健全育成に努めていただくとともに、非行の兆候を発見された時には早期に警察に連絡をしていただき、共に継続的な取り組みをして、少年の健全な成長に寄与していただきたいと考えておりますので、よろしくお願いしたいと思います。

（かとう ひろみ）

「蜂の華を採るに、ただ華の味わいのみを取って、色香を損せず」と、仏典にも載っているが、こうした心根の人間を育てて欲しいものだ」

師とも仰いでいたあるご老師から言われ、爾来三十年余の歳月が過ぎる。後に知り得たことであるが、この一句は入寂を前にした仏陀（釈迦）の最後の教誨の中の、五欲を慎むことの大切さを述べている段に見出すことができる。

さて、教師としての私は、子供たちのこうした自律ある人格形成にどれだけ寄りできたかを問われると、はなはだ心許無いと言わざるを得ない。ともすると、自分にもできてないことを強圧的言辞でもって押しつけてきたこと終始していただけないな

大先達のお一人である大村はま先生



先達の心

矢作西小学校長

上川 清 玄



「なぜと考える習慣」

元国連職員

川島 敏邦 氏

小雨が降り、寒さも一段と身にしみる一月、鴨田のお宅で話を伺った。あらかじめお送りした月報「岡崎の教育」を見ながら、開口一番、「日本のジャーナリストがすぐに年齢を聞きだるのはなぜですか。」人を年齢というカテゴリーで判断してしまう危険性を考えてのことであろう。国連ファミリイとして偏見や差別があつてはならない中立の立場で働いてきた川島さんならではお言葉であつた。

川島さんの国連職員としての仕事の始まりは、名古屋にある国連地域開発センターでの日本語教師であつた。一九七一年から九五五年まで国連職員として、そのうちの約十五年間

はニューヨークで活躍されることになる。その間、技術開発のための国際間の人材養成に貢献されることとなった。これらの人材養成の要望などを国連の仲立ちで行うと、要請側や受け入れ側が共産圏であろうと、資本主義の国であろうとスムーズにいくとのことである。

日本人の国際機関職員は九九年には一〇六名で、なり手が少ないという。その国際機関職員（国際公務員）になるためには、大学院修士以上の実務経験があり、英語かフランス語で仕事を十分できる語学力を持つていなければならぬとのことである。また、

「広い視野でものを見て、いつもなぜと考える習慣を身につけること、なにに対しても自分の考えをはっきり表現できる力が必要です。このなぜを常に意識させることは学校教育にも期待されることです。もっと前面に出し、生徒に考えさせる機会の多い授業を組み立てることが大切だと思います。」

外国語を話すことが多かった川島さんには外国の方と話す上で必要なこととお尋ねした。

「言葉を勉強するということは、その話されているところの文化を勉強するということ、精神的なもの、考え方を自然に会得していくことです。その論理で話をしないと相手に通じませんよ。」

小学校に英語の授業が導入されることについてはこう語られた。

「小学校で英語を勉強するのは悪いことではないが、リスニングにウエイトをおいて、聞かせる、話された言葉に耳を慣れさせるだけがいいと思う。聞かせておいて、それを集積して中学校に上がればいいのです。子供というのは、ある程度知識がたまれば自然と話したがるのですから。」

優しい口調で話されるのであるが、海外で英語を使って仕事をしてきた川島さんのお言葉には迫力と説得力がある。

現在は岡崎市国際交流協会のボランティア委員会の委員長を務め、日本語教室、通訳、翻訳、外国の方への情報提供など多忙な毎日を送つてみえる。

ここ岡崎にも国際化の波は押し寄せている。その中でさらに国際理解を推し進めようとするために川島さんの存在は大きい。

氏 名 かわしま としくに
住 所 鴨田町字広元二七



の著書「教えるということ」の次の一節に触れて更に深まる。

「人に世話をやかれず、教室にはいつも自分一人、相手は自分よりも年の小さい弱い人ばかりというぐあい、しかも子供がどんな喜んだ顔をしていても、それに惑わされず、本当によい仕事をしているかどうか、厳しく自己規制ができる人、それが先生です。：教師という職業は、自分に対して非常な厳しさのいる職業だと思ふんです」ここでハタと老師のお言葉に思い至る。まず自ら行ずることにおいてこそ、と示していただいていたのだと。

二十一世紀の到来、新しい世紀の幕が開いた。情報技術革命は、いよいよ進み、我々の生活にさらなる様々な変化をもたらすであろう。学校教育現場も、その埒外にはおかれていない。しかし、学校教育の究極のねらいは人を育てることである。このことは不易である。

「人は人によりて人となる」の至言もある。明るい返事や挨拶、美しい言葉遣いのできる子に育てたかったら、教師自らがそれを為すことだと、多くの先達は言う。「子供に言うくらしいのことは自ら為すように精進せよ」と。

一年のあゆみ



▶環境保全関係功労者知事表彰で功労賞に選ばれた葵中学校生徒会



▶全国中学生カヌー大会で優勝した新香山中学校の川島君

9 ・ 1	8 ・ 30	8 ・ 18	8 ・ 17	8 ・ 7	7 ・ 6	7 ・ 29	7 ・ 29	7 ・ 28	7 ・ 27	7 ・ 26	7 ・ 23	7 ・ 21	7 ・ 20	7 ・ 7	7 ・ 1	6 ・ 14	6 ・ 6	6 ・ 2	6 ・ 1	5 ・ 24	5 ・ 14	4 ・ 29	4 ・ 23	4 ・ 20	4 ・ 4	4 ・ 3	4 ・ 1				
<ul style="list-style-type: none"> ・児童育成センター開始 梅園小学区・六ツ美北部小学区 ・岡崎市立学校セクシャル・ハラスメントの防止等に関する要領の施行 ・新規採用教員48名辞令伝達式 ・小学校通知表記載手引き42校に配布 ・鈴木正弘元教育長逝去(享年83歳) ・現職教育委員会総会(竜南中学校) ・環境保全関係功労者知事表彰 功労賞 葵中学校生徒会 ・三好カッパ国際レディスカヌー大会(〜30) ・500Mカヤックペア 優勝 新香山中学校 藤嶋紋 鈴木理恵 ・第44回岡崎市中学校総合体育大会(〜6・4 水泳6・17) ・「児童虐待の防止等に関する法律」公布 ・養護教諭の教諭(講師)の兼務発令 ・市職員による「学校で環境教室」が開始 ・2000年子ども国会に岩津中学校生徒会が当選 ・中学生呼称特(フフホト)市訪問(〜22) ・岡崎市個人情報保護条例及び岡崎市情報公開条例施行 ・市制84周年記念式典(市民会館) ・教育功績者表彰 神谷 信治氏 柴田 清氏 多々内基治氏 中根 松夫氏 羽佐田 清氏 ・第14回中学生の主張コンクール(せきれいホール) ・第53回岡崎市中学校市長杯総合体育大会(〜22) ・岡崎市小学校球技大会(〜25) ・平成12年度西三河中学校選手権大会(〜28) ・夏季実技講習会開始(〜8・2) ・第38回岡崎市小学校水泳大会(井田小・三島小) ・全国中学生カヌー大会(〜30) ・優勝 新香山中 川島慎太郎 2位 新香山中 齊藤 礼未 ・第27回岡崎市民大学講座(市民会館) ・高橋千劔破氏(7・29) 茅 幸二氏(8・5) ・高橋 晴俊氏(8・19) 石内 展行氏(8・26) ・竹市 明弘氏(9・2) 湯川れい子氏(9・30) ・第54回愛知県中学校総合体育大会(〜8・3) ・第20回全国アーチェリー大会 ・優勝 男子30・30M 東海中 鈴木 貴揮 ・優勝 男子30・18M 東海中 菅沼 俊介 ・第22回東海中学校総合体育大会(〜11) ・優勝 陸上女子400MR 矢作中(白石・岩脇・次田・日下部) ・優勝 水泳男子100M背泳ぎ 矢作北中 尾崎 勇 ・優勝 水泳男子400MR 竜海中(高木・鈴木・早川・柳) ・平成12年度全国中学校体育大会(〜25) ・第17回NHK放送コンテスト ・最優秀賞 常磐中学校 放送部 ・岡崎市統計グラフ表彰式(福祉会館) ・岡崎市学校管理規則の一部が改正施行 																															
10 ・ 29	10 ・ 28	10 ・ 26	10 ・ 25	10 ・ 24	10 ・ 21	10 ・ 18	10 ・ 17	10 ・ 9	10 ・ 8	10 ・ 7	10 ・ 4	10 ・ 2	10 ・ 1	9 ・ 30	9 ・ 23	9 ・ 23	9 ・ 17	9 ・ 14	9 ・ 12	9 ・ 9	9 ・ 9	9 ・ 8	9 ・ 8	9 ・ 9	9 ・ 8	9 ・ 8					
<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル可能ごみの回収開始 ・学校栄養職員の特別非常勤講師としての任用開始 ・第67回NHK全国音楽コンクール(東海北陸大会) ・小学校の部 金賞 矢作南小学校 ・中学校の部 銀賞 六ツ美北中学校 ・東海豪雨のため市内3校が休校、崖崩れ被害2校、学習に支障があった児童生徒4名 ・第50次教育研究岡崎集会(南中・城南小) ・第35回CBC子ども音楽コンクール東海地区大会 ・中学校重奏の部 サキソフオーン四重奏 最優秀賞 岩津中学校合唱の部 最優秀賞 六ツ美北中学校 ・第37回吹奏楽祭(市民会館) ・第53回全日本合唱コンクール中部大会 ・同声合唱の部 金賞 六ツ美北中学校 ・第39回小学校陸上競技大会(県岡崎総合運動場) ・ごみ袋の透明化完全実施 ・岡崎市教育ネットワーク構築(市内60校と教育委員会のイントラネットシステム) ・ニューポートビーチ市に中学生親善訪問(〜11) ・岡崎竜城ライオンズクラブによる少年少女バレーボール教室開始(平成15年まで) ・中村巽氏市政顧問(教育関係)に就任 ・高円宮杯第52回全日本中学校英語弁論大会 ・優秀賞 城北中学校 石井 淳 ・第27回技術・家庭科作品展(中央総合公園武道館) ・第47回理科作品展(中央総合公園武道館) ・第32回岡崎市中学校新人総合体育大会(〜22 水泳9・2) ・第67回NHK全国学校音楽コンクール(東海北陸大会) ・小学校の部 金賞 矢作南小学校 ・第47回岡崎市民体育祭(中央総合公園)(雨天のため中止) ・岡崎市伝統文化の集い 文部省指定伝統文化教育推進事業「ふるさとの伝統文化発表会」細川小学校 ・第44回愛知県統計グラフコンクール ・第18回岡崎創意くふう展(岡崎商工会議所) ・第42回英語スピーチフェスティバル(せきれいホール) ・第28回生徒市議会(岡崎市議会議場) ・第26回私のアテア貯金箱コンクール ・郵政大臣賞六ツ美中部小学校 1年 久長 雅幸 ・文部大臣奨励賞 連尺小学校 6年 赤松 史織 ・第37回造形おがさきっ子展(〜29)(おがさき世界子ども美術博物館) ・第31回ジュニアオリンピック陸上競技大会 ・100MH 8位 矢作北中学校 1年 濱井 梨沙 ・第53回全日本合唱コンクール ・中学校同声の部 金賞 文部大臣奨励賞 六ツ美北中学校 																															

▶教育文化賞を受賞した常磐南小学校音楽クラブ



▶全国アーチェリー大会で優勝した東海中学校アーチェリー部



1 21	1 17	1 16	1 10	1 5	12 25	12 15	12 2	11 26	11 23	11 21	11 19	11 18	11 17	11 15	11 12	11 10	11 8	11 4	11 3	11 2	11 1								
・第43回中部日本吹奏楽コンクール 優秀賞 矢作中学校	・平成12年度全国自作視聴覚教材コンクール 中学校部門 優秀賞 「駒立のぶどう農園」 「指標生物―水質の証人たち」	・平成12年度白秋祭献詩 特選 福岡県知事賞 福岡小学校 2年 山崎 優治	・第49回東海三県英語スピーチコンテスト 奨励賞 矢作北中学校 大見 桃子	・西三河中学校駅伝大会(県岡崎総合運動場)	・第27回岡崎市小中学校作文コンクール表彰式(公衆衛生センター)	・岡崎市伝統文化の集い 文部省指定伝統文化教育推進事業 「ふるさとの伝統文化発表会」常磐南小学校	・学校保健大会(公衆衛生センター)	・第31回博報賞受賞 矢作東小学校	・岡崎市特殊教育部	・第35回CBC子ども音楽コンクール中部日本決勝大会 最優秀賞 小学校管楽合奏部門 竜美丘小学校	・最優秀賞 中学校合唱部門 六ツ美北中学校	・文部省指定「光ファイバー網による学校ネットワークの活用方法 研究開発事業」の成果発表 葵中学校	・教育長に藤井孝弘氏就任	・第28回教育文化賞授賞式(せきれいホール) 杉本 安氏 八木 辰夫氏 常磐南小学校音楽・太鼓クラブ	・第54回全日本学生音楽コンクール全国大会 入賞 竜南中学校 2年 小浜 千裕	・第9回子ども伝統芸能祭(せきれいホール)	・第45回ソニー教育資金贈呈校 優秀校 大樹寺小学校 常磐中学校	・優良校 六ツ美西部小学校 東海中学校	・第28回岡崎のハーモニー(岡崎市民会館)	・第49回愛知県中学校長距離継走大会(県青少年公園)	・叙勲表彰者同祝賀会(竜美丘会館)	・学校体育賞授賞式(中央総合公園武道館)	・第27回冬季研修会(少年自然の家)	・第34回教育研究論文(愛知県)に原田真弓教諭(六ツ美西部小学校)が最優秀賞受賞	・第34回全国中学校文芸作品コンクール 詩・歌の部 1位 河合中学校 大久保 雅	・全国交通安全功労団体表彰 大門小学校	・第44回小中学校書き初め展(21)(岡崎市美術館)	・第52回岡崎市民駅伝競走大会	・第6回都道府県対抗男子駅伝競走大会

▶ソニー教育資金贈呈校(優秀校)に選ばれた大樹寺小学校



▶東海中学校総合体育大会で優勝した竜南中学校



3 31	3 19	3 3	2 16	2 13	2 13	2 13	1 28
・優勝 福岡中学校 畔柳 拓也	・文部科学大臣賞(合唱の部・重唱の部) 受賞 六ツ美北中学校合唱部	・第11回学校文化賞授賞式(甲山会館)	・講堂取り壊し作業開始・新倉庫完了 男川小学校	・第36回読書感想文・感想画コンクール表彰式(福祉会館)	・新屋内運動場完工式 愛宕小学校	・「岡崎の教育史要Ⅴ」刊行	

▶各校で進む耐震工事(城北中学校)



▶都道府県対抗男子駅伝競走大会で優勝した福岡中学校の畔柳君



平成12年度研究発表表

月日	校名	分野	研究主題	研究概要	研究資料
6月15日	竜海中	教科指導	自ら追究し、自己向上をめざす生徒の育成 －教科学習を中心に－	“自己向上”を『生きる力の育成、実生活に応用・発展できる学びの充実、自己教育力のさらなる構築』と押さえ、生徒一人一人のもつ総合的な力の一層の向上をめざす。	研究物 研究紀要 学習指導案綴 助言者 市内各教科指導員
6月20日	東海中	教育全般	自らの良さを自覚できる生徒を目指して －他とのかかわりを通して－	平成10年度に岡崎市教育委員会より研究委嘱を受けた。本校では人とかかわりを授業で仕組み、学習を深化させることを重点に、教科・道徳・総合の各領域で研究を進めた。	研究物 研究紀要 学習指導案 講 師 総合的な学習の時間の運用 千葉大学教授 天笠 茂先生
6月27日	城北中	教育全般	自ら学び主体的に生きる生徒の育成 －マルチメディアで広がる情報交流－	インターネットやテレビ会議システムを中心に、メディアを道具として使いこなし、豊かな学力を育むマルチメディア教育の効果的な指導のあり方について研究実践を重ねた。	研究物 紀要 学習指導案綴 実践CD-ROM
6月30日	根石小	学校図書館	心がふれあう読書指導 －学校の特色を生かした総合的な学習の試み－	総合的な学習の一つの試みとして、担任による読み聞かせを継続し、本好きな子を育てることで、一人一人に豊かな心と生きる力を育むための研究実践を行ってきた。	研究物 研究紀要 読書の森（年間計画） 読書授業案綴 講 師 国立国語研究所長 甲斐睦朗先生
10月13日	羽根小	教科指導	楽しく学びながら、確かな力をつける学習 －魅力ある活動と教師支援－	平成10年度に岡崎市教育委員会より、研究委嘱を受け、国語と算数の基礎基本の教科指導を具体的かつ実践的に進める研究を行ってきた。	研究物 研究紀要 学習指導案綴 講 師 広島大学助教授 難波博孝先生 愛知教育大学助教授 志水 廣先生
10月20日	矢作中	教育全般	自らの生き方を考え明日を拓く －主体的な活動を通して－	平成10年度より生き方を重視した進路の学習を柱に、教育全般で研究している。今年度は特に、体験を軸に総合的な学習も取り入れ「生きる力」を育む研究を実践している。	研究物 研究紀要 学習指導案綴 講 師 愛知教育大学教授 神谷孝男先生
10月31日	六南小	総合学習	生きる喜びを感じ、自ら学ぶ子の育成 －総合的な学習（あおみの時間）の試み－	子供たちに「生きる力」を育成することを目標とし、研究の重点として『育てたい力の構想』『学びの過程作り』『教師支援の工夫』の3つに取り組み、研究実践を重ねた。	研究物 研究紀要 授業案綴り 講 師 学校と家庭を結ぶ学校だより 愛知教育大学助教授 寺本 潔先生
11月10日	三島小	交流教育	豊かに感じ、自ら考えを深める子供の育成 －共に生きる力を育てる交流のあり方－	平成11・12年度にわたって委嘱された「交流教育地域推進事業」の研究に取り組んだ。昭和54年度から継続してきた岡崎盲学校との交流を基盤に、総合的な学習の時間の柱として学年ごとに実践を重ねた。	研究物 研究紀要 パネリスト 指導案・授業案綴り 皇学館大学教授 松下 淑先生 岡崎盲学校長 伊藤澄男先生 岡崎市社会福祉協議会次長 小笠原盛久先生
11月21日	甲山中	教科指導	生きる力を育む甲山教育の創造 －生徒の思考力、判断力、表現力、豊かな心を育む教育活動の工夫－	生きる力を育む教育活動の工夫を軸として、生徒が自ら学ぶ授業の工夫を行い、生きる力にあふれる子供たちの育成をめざして研究実践に取り組んだ。	研究物 研究紀要 学習指導案綴 資料集 座席表 講 師 市内教科指導員
11月29日	矢作幼	教育全般	子どもの健やかな成長を願って －家庭との連携を考える－	子どもの健やかな成長には、母親が子育てを楽しんでいることが大切である。子育て会や親子読書ノート・抽出児の事例より、母親支援のための研究実践を行ってきた。	研究物 研究紀要 公開保育指導案 講 師 岡崎女子短期大学教授 林 陽子先生

平成12年度教育研究論文入賞者

●個人研究の部

最優秀賞

氏名	学校名	教科領域	研究主題
寄田加津子	井田	書写	文字を正しく整えて書き書写の能力を生活に役立てられる子の育成
岩瀬 竜弥	竜南	数学	課題選択制を取り入れたティームティーチング

<論文入賞者数>

	個人	共同	合計
小学校	92	9	101
中学校	45	8	53
合計	137	17	154

優秀賞

稲前 葉子	男川	国語	確かな読みから豊かな表現ができる子を目指して
田中 俊男	羽根	国語	楽しく学びながら確かな力をつける学習
坂部 展子	福岡	国語	感動を自分の言葉で表現できる子に
苅谷佳代子	矢作南	国語	読解力を深め、自分の思いを表現する子の育成
坂元 薫	六北部	国語	確かなことばで生き生きと伝え合う子の育成
原田 康成	梅園	社会	郷土の英雄に誇りを持つての子供たちの育成
長谷川雄一	岡崎	社会	問題意識を持って粘り強く追究しながら心豊かな交流を果たす児童の育成
福田 忠大	竜美丘	社会	問題意識を持ちながら追究し、生活に生かす力を育む社会科の授業
日置 正敏	本宿	社会	進んで追究し考える子供の育成
坂元 干城	矢作南	社会	効果的な追求活動から反戦意識を高める子の育成
渋谷 昌彦	常磐	算数	自ら学び自ら考える力を育てる算数の授業
多田 一孝	上地	算数	自ら課題をつくり主体的に学ぶ子の育成
伊藤 悦子	緑丘	理科	主体的に問題解決できる子の育成
神谷 敦仁	大樹寺	理科	自然現象に疑問を抱き、自ら解決していこうとする子の育成
坪井 恵子	大樹寺	理科	自然や人と共生する喜びを体感できる生活科の授業の創造
斎藤優亜子	竜谷	生活	身近な人々とのふれあいから自分をさがし続ける子の育成
河上 咲子	城南	生活	思いや気付きを素直に表現し、活動に生かす子を求めて
斉藤 朋子	六西部	生活	地域の中で自ら学び自己実現していく子の育成
吉田 靖子	広幡	保健体育	みんなが楽しさや喜びを味わえる体育の授業
太田 悦子	藤川	保健体育	身体表現から書くこと・話すことへの広がりを目指して
鈴木 のり子	男川	家庭	家庭生活を見つめ家族への思いを大切にしている子の育成
香名 治美	緑丘	特別活動	集団活動を通して自主性・協力を育てる
山本 純子	矢作東	特殊教育	思いを伝え合う力を伸ばす指導
坂田 稲子	六中部	特殊教育	人と関わることのできる子をめざして
佐藤 孝子	六名	総合	感動体験を表現し社会に発信できる子
井上久美子	山中	総合	自然環境を大切にしている心を育てる学習指導
三上美佐子	矢作東	総合	確かで豊かな音声言語表現力を生かした授業
清水 範彦	六中部	総合	自ら問題を見つけ、意欲的に追求する子の育成
加藤 嘉一	六南部	総合	生きる喜びを感じ、自ら学ぶ子の育成
船越 学	六西部	総合	社会科を絡ませながら郷土を愛する心を育む総合的な学習の時間
佐々木八津子	城南	教育全般	意欲を持って主体的に行動する子の育成
神谷あけみ	河合	国語	『積極的に表現の素材を求め、伝え合おうとする生徒』の育成を目指す国語科の授業
竹平 真仁	葵	社会	学ぶ楽しさを味わい、生き方を問う社会科の授業
山本 則夫	北	理科	科学的な観点で自然現象を見つめ、ねばり強く課題を追究する生徒の育成
柴田 貴子	甲山	音楽	『想いを表情豊かに伝え、コミュニケーションのできる授業の創造』
中野渡善樹	南	保健体育	運動で自立できる生徒の育成
松井 昭宏	東海	保健体育	互いに心を開き、共感できる体育の授業
畔柳 朋美	常磐	保健体育	豊かな学力を育む常磐の小中連携教育
小川 有理	竜南	保健体育	仲間と関わり、互いに高め合うダンスの学習
小田 英宣	六ツ美北	保健体育	運動欲求を持続し、自己実現をめざす体育の授業
伊藤 智美	竜海	技術家庭	実践的・体験的な学習活動を通し、よりよい生活をめざす生徒の育成
本多みどり	城北	英語	国際社会に生きる生徒の育成
本郷 一毅	六ツ美北	道徳	一人の人物に焦点を当てた総合単元的な道徳の授業
野口百合子	東海	特別活動	共に生きる心を育てる特別活動の指導
津田 将宏	六ツ美	特別活動	自らの生き方・進路を考えられる生徒の育成

佳作

金田ともえ	根石	国語	清水 敦子 藤川 学習情報
岩瀬 裕美	広幡	国語	鈴木 玲子 恵田 学習情報
荒川 泰世	広幡	国語	佐藤 優美 大門 図書館
丹羽 郁人	井田	国語	川澄 敏子 根川 学校保健
平国 亮子	福岡	国語	小久保 晃 根石 総合
尾崎 和美	細川	国語	渡辺 邦夫 根川 総合
井上 昌子	矢作東	国語	鈴木 崇之 三島 総合
小川 美鈴	矢作東	国語	三浦 裕昌 広幡 総合
大西 裕子	矢作東	国語	藤原千恵美 広幡 総合
柴田由美子	矢作東	国語	浅井 絹恵 常磐東 総合
杉浦久美子	矢作南	国語	渡辺 邦夫 常磐 総合
森下 成樹	矢作南	国語	柴田 知子 矢作西 総合
宮田美智子	北野	国語	川本 祐二 小豆坂 総合
成田 隆行	三島	社会	宮地久美子 梅園 教育全般
佐藤 浩司	大樹寺	社会	伊藤 聡子 矢作東 教育全般
小境 基生	北野	社会	河合由起子 城北 国語
堺 正司	六西部	社会	豊永 晶子 北 書写
鈴木 勝久	梅園	算数	岩下 英司 東海 社会
草次 真人	羽根	算数	清水 隆史 河合 社会
遠藤美保代	矢作東	算数	深津 伸夫 葵 数学
小野田 勇	矢作南	算数	加藤 政幸 北 数学
加藤 稔	六西部	算数	土田 修義 美川 理科
児玉 洋行	羽根	理科	柴田 昌一 葵 理科
岩月 淳子	藤川	理科	深谷 孝之 竜美 美術
天野 道晴	本宿	理科	早川 周宏 六ツ美北 美術
川端 啓介	上地	理科	市川 陽明 岩津 保健体育
板倉 敏之	小豆坂	理科	岩間 謙二 竜南 保健体育
鈴木理栄子	梅園	生活	澤入 弘美 城北 英語
本多 教江	男川	生活	長瀬 千春 東海 英語
千賀しのぶ	六名	生活	松野 卓郎 東海 道徳
山本 陽子	連尺	生活	清水 良隆 岩津 道徳
武田 玲香	大門	生活	後藤 真司 北 道徳
村田 里美	矢作西	生活	磯村 彰久 葵 特別活動
前川あゆみ	六南部	生活	神谷 明良 矢作 特別活動
杉村 定則	城南	生活	峰須賀靖幸 葵 特殊教育
石田佳奈子	矢作南	音楽	岡田 幸夫 六ツ美 特殊教育
山口 泰代	本宿	図工	山田 義仁 葵 学習情報
中野 信昭	六北部	保健体育	小田 哲也 竜南 学習情報
土屋 洋子	六西部	保健体育	浅井 圭子 甲山 図書館
森 みどり	矢作西	家庭	荒河 昌吾 矢作北 生徒指導
草次 治代	大門	道徳	岡 秀之 矢作 総合
嘉森 環	六北部	道徳	廣田 あい 六ツ美 総合
柴田 秀夫	根石	特別活動	早川 哲也 六ツ美 総合
鈴木 明美	広幡	特殊教育	板倉 眞介 北 教育全般
村田 貴志	梅園	学習情報	浅野 博志 六ツ美北 教育全般

●共同研究の部

最優秀賞

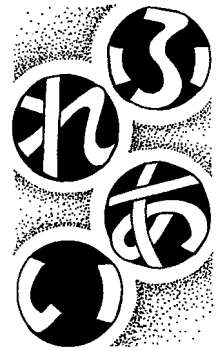
5年生部会 成田 隆行	三島	総合	豊かに感じ、自ら考えを深める子の育成
保健体育部 鈴木 大	竜海	保健体育	自らチャレンジし、運動の楽しみ方・学び方を身につけていく授業

優秀賞

特殊教育部 内田 純子	井田	特殊教育	自ら課題をもって活動する子の育成
現職教育部 片桐 徹	六南部	総合	生きる喜びを感じ、自ら学ぶ子の育成
現職教育部 金指由香里	広幡	教育全般	学ぶ喜びが育つ授業
保健体育部 香川 恵美	矢作北	保健体育	生涯スポーツへの自立を目指した体育学習
特殊教育部 板垣 登	竜海	特殊教育	人と関わる能力を高める授業

佳作

2年部会 田村 康則	竜美丘	算数	美術部 長坂 博子 甲山 美術
現職教育部 加藤 博史	岡崎	特別活動	研究推進部 森 竜師 城北 学習情報
研究部 山田 一夫	六北部	総合	3年部会 今枝 武司 城北 総合
交流活動研究部 野々山宣子	三島	教育全般	2年部会 小川 規博 矢作 総合
研究推進部 守山 妙子	城南	教育全般	現職教育部 荻須 文裕 東海 教育全般



「心の奥に秘められたもの」

愛知県立安城養護学校

野本亜香根

特殊担任未経験の私が養護学校で二度目の冬を迎えた。今年度は小学校四年生の担任。自閉症、ダウン症、発達遅滞の五人がクラスのメンバーである。その中の一人A男は、去年本校に転入し二年目の学校生活に入った。

昨年の様子を聞くと、なかなか友達の中に入れず行事については特に強い苦手意識を持っていたという。とはいっても彼の彼なりに少しずつ変化は現れていた。嫌がっていた駆け足も毎朝続けることのでこにこしながら参加できるようになった。その成果を出した運動会では、緊張の糸が切れたのか、閉会式で大きな声を出して泣いてしまった。十一月には「なかよしまつ

り」に向けての活動が始まった。絵をかくのが得意なA男は魚の絵をかくて看板作りを手伝った。また友達と作ったお知らせの紙を印刷するため、彼にとっては新しい世界である職員室での活動も経験した。「失礼します。印刷機を使います。」

と見知らぬ先生に話しかけることもできた。待ちに待ったなかよしまつり。そこにはA男が生き生きと活動する姿があった。閉会コールの後、「終わっちゃった。」

と何度も繰り返しながら泣きじゃくるA男。その様子を見たら母親も、「頑張ったんだね。こんなことは初めてです。」

と驚嘆した。普段では見つけられないA男の心の奥を垣間見た瞬間だった。



師弟同行

先生との出会いは

私の原点

細川小学校

菅沼 和子

先生には矢作中学校で三年間教えていただきました。先生は、全校の憧れの存在でした。若く、背が高く、バスケットの顧問で、英語がペラペラなんです。授業は明るくユーモアにあふれ、話が巧みなので誰もがひきつけられる時間でした。当時は電車通勤されたらしく、学校へ向かう田んぼの中の一本道を颯爽と歩いていかれる姿が、今でも鮮やかに思い浮かびます。

美術の作品づくりは、今思うととてもダイナミックで、大きな一本の丸太のみを使って大胆に彫っていくことに夢中になったのを覚えています。その後私が美術の先生になったのは、先生の存在があったからというのはいささか不思議です。

就職してから、先生が岡崎の小中学校の美術教師にとつ



て、とても大きな存在だということを知りました。おかげで世界子ども美術博物館の設立に奔走されたことや、おかげで子展の発展や改革など、退かれるまで本当に私たちの先頭を切ってぐいぐいと引っ張っていただきました。

御退職記念の画文集『ひこばえ』を見ると、先生がその時その場所そして様々な出会いを大切にされたことがよく分かります。人としての魅力にあふれた先生に出会えたことが私の財産です。どうぞいつまでも若々しい素敵なお先生でいてください。

自然体の内に秘めた知性と情熱

愛知県教育振興会

古橋 睦典

中学校で三年間、美術を教えた和子さんがその後、美術教師の道を選ばれ、現在素晴らしい活躍をされていることは私の大きな誇りです。

平成五年度、私が岡崎市の

図工・美術部長を務めていた年、菅沼和子先生は美術部世話係の副主任、続いて翌年には主任に推挙され、私は教え子と一緒に岡崎の美術教育に携わるという縁に恵まれ、格別の感慨を得たものです。

中学校当時の和子さんは利発で、何事も真剣に取り組み模範生でした。そして何より常に自然体でした。

美術の授業では、大きな瞳を輝かせながら、私の説明を一言一句洩らすまいと聞いていたことをよく覚えています。また、絵画、彫塑、デザインのある分野で、すぐれた描写力あるいは、感性や創造性にあふれた作品を制作して私を感激させたものです。それらの作品の一つが「造形おかげさす子展」の十周年記念に出版された『おかげさす子展』に木彫の代表作として掲載されています。

ところで、教師としての和子さんは早くからすぐれた指導力を発揮するとともに、岡教組の女性部長に選ばれたりと、女性役職者に抜擢されるなど、多くの方々から全幅の信頼を得られました。それは和子さんが中学時代から備えていた自然体と、内に秘めた知性と情熱のたまものであると思います。和子さんには何としても、教師の道を全うしてほしいと願っています。

お知らせ



◆平成十二年度少年消防クラブ員防火作品展

市長賞のみ

・ポスターの部

六中小四年 田中淳之介

六ッ美中三年 稲垣 拓

・習字の部

附属小六年 澤田 技里

美川中二年 澤田 恵

◆第四十五回県自作視聴覚教材コンクール

最優秀賞(ヘビデオ部門)

「外山古墳―古墳が語りかけてくるもの」

・自作教材制作委員会A班・AVL

優秀賞(ヘビデオ部門)

「きれいな川を取り戻すのは誰」

・自作教材制作委員会E班・AVL

「どぶろく祭りを伝える」

・自作教材制作委員会C班・AVL

二位 岩津中二年 丸尾 祐矢

優秀賞(〇HP教材部門)

「目を大切にしよう」

美川中 浅井 君枝

「物語文―てがみ―」

矢東小 鷹見 京子

◆第三十五回こども音楽コンクール

・合唱の部

文部科学大臣奨励賞

六ッ美北中学校

・重唱の部

文部科学大臣奨励賞

六ッ美北中学校

◆第三十六回岡崎市小中学校読書感想文・感想画コンクール

市長賞(読書感想文)

六南小三年 大島 優美

竜美丘小六年 植田 千紘

竜南中二年 小浜 千裕

市議会賞(読書感想文)

広幡小一年 浅野 晶子

矢南小四年 鈴木 愛里

河合中二年 粟生彩有里

岡崎南ライオンズクラブ会長賞

(読書感想画)

藤川小二年 平岩 照大

大樹寺小五年 口屋 初理

城北中二年 齋藤 綾乃

◆第三十六回一色マラソン大会

・中学男子

優勝 六ッ美中三年 天白 真順

三位 城北中三年 長尾 勇治

◆第二十回新春乙川マラソン大会

(優勝のみ)

・小学校男子

矢東小六年 鈴木 慶輝

・小学校女子

連尺小六年 永谷 夏美

・中学校男子

北 中一年 藤田 翔

岩津中二年 丸尾 佑矢

六ッ美中三年 天白 真順

・中学校女子

東海中一年 足立依實子

東海中二年 山田 共未

竜南中三年 志賀 瞳

◆第十九回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会

愛知県代表選手

矢作中三年 杉浦 恵子

◆第六回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会

優勝(愛知県チーム)

福岡中三年 畔柳 拓也

竜海中三年 伊藤 正人

◆交通安全第五十二回岡崎市民駅伝競走大会

・男子の部

優勝 竜海中学校 A

二位 竜南中学校 A

三位 六ッ美中学校 A

四位 矢作中学校 A

五位 東海中学校 A

六位 岩津中学校 A

〈区間賞〉

一区 甲山中 兵藤 利哉

二区 東海中 鈴木 孝典

三区 竜南中 林 英一郎

四区 矢作中 吉開 祐佑

五区 北 中 藤田 翔

六区 竜海中 木村 智也

七区 六ッ美中 天白 真順

八区 六ッ美中 武藤 勇人

九区 竜南中 松田 勇介

・女子の部

優勝 矢作北中学校 A

二位 六ッ美中学校 A

三位 矢作中学校

四位 六ッ美北中学校

五位 北中学校 A

六位 東海中学校

〈区間賞〉

一区 矢北中 大沢 美穂

二区 岩津中 鈴木 千絵

三区 東海中 足立依實子

四区 矢作中 杉浦 恵子

五区 六ッ美中 永井 亜季

◆第十九回中学生ハンドボール大会

・男子

準優勝 葵中学校

・女子

三位 六ッ美北中学校



▲ 第52回岡崎市民駅伝競走大会 (1月21日)

・カ
ツ
ト
竜美丘小 滋野井 貴子



学習発表会 (明治44年)

写真は、矢作南小学校の創立八十周年記念誌『矢南の大松』に掲載されている学習発表会の様子である。
二教室をぶち抜いた板敷き会場に着物の男女が正座し発表に聞き入っている。また、正面に黒板を置き、二人の児童が指示棒を使って説明をしている。横には当時高価なオルガンも見られる。学習発表会は明治中期には、すでに本格的に実施されていた。児童の服装や教師の髪型、姿勢や態度、会場設営などから、教育の不易と流行を教えられる。



写真提供 矢作南小学校

思い出を胸に、子供たちが大空へはばたく季節となった。
二十一世紀を担う子供たち。その目は輝いている。その心は夢や希望に満ちあふれている。少し大人びたように感じられるのは気のせいだろうか。彼等の巣立ちを心より祝福したい。

シ オ ス ア

職員室内に張りめぐらされたラウン・ケープル。パソコンを持つ先生が急増している。学校の研究に携わってくださる大学教授からも、「指導案はメールで送ってください」と、メールが届く。年度末、実践記録等の印刷、製本がCD制作に替わるのも近いであろう。

あいさつが心に残る別れの三月。卒業式や人事異動など、別れの場面が特に多い。日差しは春の陽光となり、樹木は芽吹き始め、春の薫りを運んでくる暖かい風。別れることは新しい門出。春を心待ちにして祝うように、別れも祝うべきものなのかもしれない。

ステレオから聴こえてくるのはクラシック音楽。多忙な生活の中の趣味の一つである。

岡崎は、自転車を通ることのできる小径が多く、とても気にいっていると笑顔で話してみえた。



- * 授業を変える学校が変わる 佐藤 学 小学館 ￥1900
- * 天国までの百マイル 浅田 次郎 朝日新聞社 ￥1500
- * 「あなた」に伝えたい 小さなメッセージ 愛知県新城市編 明治書院 ￥800
- * 今こそ食育を！ 砂田登志子 法 研 ￥1500

- * 甘やかされすぎる子どもたち クライン孝子 -日本人とドイツ人の生き方- ポプラ社 ￥1200

新しい世紀を迎えたが、子供たちの将来は大丈夫かなと思える事件ばかりである。ドイツのフランクフルトに在住の著者が、遠く離れた所に居るからこそ、見える日本のいいところ、悪いところを、勉強・家庭・友達・自立・仕事・おとなになるということ・生きるということの7章で提言している。

子育てを含め、悔いのない人生をどう生きていくか、自問自答させられる。